

公示用

令和元年度施行

設 計 書

業務名 令和元年度 除排雪作業に係わる調査業務

令和元年 12 月 1 日 単価適用

札幌市建設局土木部雪対策室

# 業 務 仕 様 書

## 1 業務の概要

札幌市冬のみちづくりプラン 2018 に基づき、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現を目指すため、生活道路の除排雪に関わる検討として、パートナーシップ排雪制度の運用の見直しに向けた実証実験や、作業の省力化などを目的とした新たな除雪方式の試行といった取り組みなどを進めています。

本業務は、これら取り組みの本格化に向け作業状況や道路状況を把握するために現地調査を行い、今後の方策を検討するための基礎資料を作成することを目的としています。

※除排雪作業は、道路維持除雪業務受託者が実施

## 2 履行期間

業務着手日から令和 2 年 3 月 27 日まで

## 3 業務の着手

受託者は、本業務を実施するにあたり、着手前に業務内容の詳細について担当職員と十分に協議をし、以下の書類を着手時に提出するものとする。

- (1) 業務着手届
- (2) 主任技術者等指定通知書
- (3) 技術者経歴書
- (4) 技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類（健康保険証の写し等）

## 4 業務の完了

受託者は、本業務を完了するにあたり、業務完了届と成果品を提出すること。なお、成果品には、業務概要、履行期間、業務委託料、当該業務の内容、受託者名（住所、電話番号、FAX 番号、担当者名を含む。）が記載された書類を含むものとする。

- (1) 報告書（A4 版縦左綴・印刷） 2 部
- (2) 報告書概要版（A3、3 枚程度） 2 部
- (3) 報告書等の電子データ（CD、DVD など記録媒体） 1 部
- (4) 業務において制作・作成した物品 一式

## 5 調査対象

### 5-1) 除雪状況調査

A 団体：試行を行う 3 地域（各 5 路線）

- ①西区：発寒 2 条 3 丁目、道路延長 0.5km 程度（約 130 世帯/1 町内会）
- ②西区：西町北 8 丁目～西町北 13 丁目、道路延長 3 km 程度（約 910 世帯/1 町内会）
- ③手稲区：星置 3 条 9 丁目～星置 1 条 6 丁目、道路延長 12km 程度（約 1,360 世帯/4 町内会）

B 団体：試行を行わない 2 地域（各 5 路線）

①西区：未定

②手稲区：未定

※地域は、担当職員と協議のうえ決定する。

※A 団体、B 団体における調査対象路線の選定については、現場条件を踏まえ担当職員と協議すること。

#### 5-2) 排雪状況調査

計画排雪を実施する 6 車線級、4 車線級、2 車線級の路線及び、パートナーシップ排雪に関連して実施する道路幅員 10m 以上の路線を調査対象とする。

※調査対象路線は、調査当日の午前中に担当職員と協議すること。

#### 5-3) パートナーシップ排雪状況調査

A 団体：実験断面で排雪を行う 23 団体（各 3 路線）

B 団体：従来断面で排雪を行う 23 団体（各 2 路線）

※本市各区土木部において、現在、パートナーシップ排雪制度の申し込みを受け付けているところである。団体は、担当職員と協議のうえ決定する。

※A 団体、B 団体における調査対象路線の選定については、現場条件を踏まえ担当職員と協議すること。

### 6 業務内容

本業務における業務内容は以下の通りとする。

#### (1) 打合せ

打合せは、業務着手時、中間時 2 回、成果品納入時の計 4 回実施する。なお、中間時の打ち合わせは、担当職員の指示により実施するものとする。

#### (2) 全体工程策定

本市道路維持除雪業務の受託者（以下、除雪業者）に対し、除排雪作業の工程等（日時、時間帯）を聞き取り、現地調査及び書類作成等、調査業務について全体の工程を策定する。なお、除排雪作業の工程は、気象状況及び作業の進捗に影響を受け、頻繁に変更が行われる可能性があるため、除雪業者への聞き取りならびに市との調整を密に行い、都度変更を行いながら調査日程を管理すること。

#### (3) 現地調査

現地調査を行う計測員の配置体制を整え、計測員に対し、業務概要・目的・計測時の留意事項・計測対象項目・計測方法・安全管理その他必要事項について、あらかじめ教育を行うこと。

##### (ア) 道路状況の調査

a) 定時計測（決まった曜日に調査）

走行幅員、圧雪厚、雪山高を 2 箇所程度/1 路線で計測し、静止画（全景）を撮影

b) 臨時計測（作業の実施状況に合わせて調査）

- ・作業直前の走行幅員、圧雪厚、雪山高を2箇所程度/1路線で計測し、静止画(全景)を撮影
- ・作業中の排雪量、作業時間、沿線宅の民間排雪利用の有無を計測し、静止画(全景)を撮影
- ・作業直後の走行幅員、圧雪厚、雪山高を2箇所程度/1路線で計測し、静止画(全景)を撮影

c) 動画撮影(指定日に調査)

- ・作業開始から作業完了までの作業状況を動画で撮影

※道路幅員が広い道路では、走行幅員の計測が困難なため、官民境界から雪山端部までの幅などを計測し、道路台帳等を引用した上で、走行幅員の算出すること。

(4) 結果集計

計測結果を集計し、団体・路線別に計測の記録をとりまとめる。

とりまとめにあたっては定時計測と臨時計測を時系列で整理するとともに、A団体とB団体の差異を容易に比較できるよう、図示や写真の添付などの工夫を行うこと。

7 その他

本仕様書に記載のない事項については、担当職員と協議を行うこと。

【参考】調査項目一覧表

名称	調査内容	調査路線数			回数	延数量	備考（対象路線・調査時期）	
		A	B	小計				
<b>5-1) 除雪状況調査</b>								
定時計測	幅員・圧雪厚・雪山高	15	10	25	8	200 路線	道路幅員 10m 未満 (A の 15 は同一路線)	1 月中旬 ～ 3 月中旬
臨時計測（作業直前）	幅員・圧雪厚・雪山高	15	0	15	3	45 路線		
臨時計測（作業直後）	幅員・圧雪厚・雪山高	15	0	15	3	45 路線		
動画撮影		-	-	-	-	3 日		
<b>5-2) 排雪状況調査</b>								
臨時計測（作業直後）	幅員・雪山高	-	-	69	1	69 箇所	6 車線級	1 月中旬 ～
臨時計測（作業直後）	幅員・雪山高	-	-	69	1	69 箇所	4 車線級	
臨時計測（作業直後）	幅員・雪山高	-	-	69	1	69 箇所	2 車線級	2 月上旬
臨時計測（作業直後）	幅員・圧雪厚・雪山高	-	-	69	1	69 箇所	PS 排雪 10m 以上	2 月
<b>5-3) パートナーシップ排雪状況調査</b>								
定時計測	幅員・圧雪厚・雪山高	69	46	115	4	460 路線	道路幅員 10m 未満 (A の 69 は同一路線) (B の 46 は同一路線)	1 月下旬 ～ 3 月上旬
臨時計測（作業直前）	幅員・圧雪厚・雪山高	69	46	115	1	115 路線		
臨時計測（作業中）	排雪量・作業時間・ 民間排雪利用状況	46	20	66	1	66 路線		
臨時計測（作業直後）	幅員・圧雪厚・雪山高	69	46	115	1	115 路線		
動画撮影		-	-	-	-	33 日		

※動画撮影を除き、静止画（全景）を撮影すること

※1 路線につき 2 箇所程度で計測すること

※定時計測、臨時計測の調査日が重なった場合、最大 10 班程度（2 名/1 班）の稼働を想定している

※全体として上表程度の調査結果を得られる場合は、業務内容の変更の対象としない。大きく異なる場合は、担当職員と協議すること

令和元年度 除排雪作業に係わる調査業務

内訳書

	総委託費	円
一金	業務価格	円
	消費税等相当額	円

内 訳

名 称	細目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接人件費	計画準備 打合協議	式	1			単価算出調書1
	除雪状況調査	式	1			単価算出調書2
	排雪状況調査	式	1			単価算出調書3
	パートナーシップ 排雪状況調査	式	1			単価算出調書4
	報告書作成	式	1			単価算出調書5
直接人件費計						①
直接経費	旅費・交通費	式	1			単価算出調書6
	電子成果品作成費	式	1			国積算基準) P1-1-9
直接経費計						②
直接原価						③=①+②
諸経費						④ 国積算基準) P1-1-3
業務価格						⑤=③+④
消費税相当額						業務価格の10%
総委託費						

札幌市

